THE LION'S ROAR

ISS INTERNATIONAL SCHOOL SINGAPORE CAMPUS

潜在力の実現

2017年9月

www.iss.edu.sg

マーガレット・アルバラズ博士
学校長

ISS　Roarの2017-2018年度、初めての発行を嬉しく思います。ニュースレターはISSでの出来事を伝え、学生に提供する独特な学業の機会をお祝いする目的で発行されます。これを通じて昨年に起こった出来事を振り返り、これから数カ月におよび計画されている楽しい出来事を期待していただけます。

新しい学生や教職員、在学生および教職員を心より歓迎いたします。今学年は、とてもいい年となる予感がします。

パターソンキャンパスのリース契約が2022年まで延長になったという嬉しい知らせを、夏休みの前にもらいました。

このように延長を通じで教育的、自律的、包容的な文化を維持するために、有益な方向にキャンパスを発展させていくことのできる機会を手にしました。以前にもお話しいたしましたが、私達の長期目標は広範囲な建築と修理を行い、パターソンの敷地に両キャンパスを統合させることです。シンガポール当局にこれを申請し、現在許可を待っているところです。

今学年のテーマは、『能動的な国際的責任意識の開発』です。開発されたプログラムの多くは、このような領域に焦点がおかれています。数週間にわたり毎年行われるインターナショナルデイでは、私達の共同体の国際性を祝う予定です。文化行事にご参加いただき、ご一緒に学んでいただけると幸いです。また、国際料理祭りも是非お楽しみください。

今年は、すごく期待しています。各学生が潜在力を達成できるよう教職員が誠心誠意努力する学校になるためにはなにが必要なのか、みなさまと一緒に考えていけたらと思っています。

マーガレット・アルバラズ博士
学校長

パターソンキャンパスのリース契約が2022年まで延長になったという嬉しい知らせを、夏休みの前にもらいました。

このように延長を通じで教育的、自律的、包容的な文化を維持するために、有益な方向にキャンパスを発展させていくことのできる機会を手にしました。

内容

07 小学校の水泳競技

08 中学校のアクションデイボランティア

13 PTAの一年の概要

15 インターナショナルデイ

03 ISSについて：
包容とはどんな意味で、なぜISSインターナショナルスクールで重要なのか

06 理事会メンバー紹介：
ミスターチャン・クァイ・メング
(Mr. Chang Kwai Meng)

07 学生達の成就と貢献：
10学年 プライベートプロジェクトの日
中学生 アクションデイボランティア
8学年 グッバイイベント
ダンスという言語を通じてカルチャーを共有
2017年のIB結果

11 卒業生コミュニティ：
ドミトリ・フェドキン(Dmitri Fedotkin)

12 主要行事：
2017サマースクールディスカバリー
PTAの1年の概要

14 過去の行事：
学校の活動
6月から8月

15 今後の行事：
期待できる行事
9月から11月

16 シンガポールニュース：
シンガポールの今後の行事

僕達は、一緒に勉強します！

‘包容’とは、どういう意味で、なぜISSインターナショナルスクールで重要なのか

“すべて（教育システム）を満足させてくれる一つのシステムがあり、すべての人が同じことができ、同じ言語で話せ、他人の願いを考慮する必要がないと思うとすれば、それが問題だと知るべきである。”

（出典：*www.plymouth.ac.uk/your-university/teaching-and-learning/inclusivity/why-is-inclusivity-important).*

またこれは、他人に対して寛容になれず、国際経済で生きて行くことは挑戦だと思う人をつくってしまいます。

ISSインターナショナルスクールの伝統と価値システム

会長であり設立者のチャン・チー・セング（Chan Chee Seng）氏は、シンガポール植民地時代に独立政府を設立した一人でした。新しく建設するシンガポールに信頼と献身を持って、国会議員と政府次官として数年間シンガポールのために奉仕しました。

チャン・チー・セング氏が政治を引退する頃には、シンガポールは世界に出る準備ができており、外国からの投資を維持しようとしました。これに対する大きな障害が、インターナショナルスクールの不足問題でした。
チャン・チー・セング氏は包容の重要性について先見の明で、教育に対する深い愛情をシンガポールに注ぎ、世界的な視覚を持った包容的なインターナショナルスクールへのビジョンを立て、これをシンガポールインターナショナルスクールと命名しました。
それが、今日のISSインターナショナルスクールです。

ISSは全学生が自らの潜在力をすべて発揮できるように約束し、また包容、成長、そして自律に焦点をおいた方針で、このようなビジョンを実践しています。

僕達は、一緒に音楽を演奏します！

ISSは全学生が自らの潜在力をすべて発揮できるように約束し、また包容、成長、そして自律に焦点をおいた方針で、このようなビジョンを実践しています。

私達は、一緒に勉強をします！

私達の教育哲学

学生全員の要求を反映するのが、ISSの中心的利点です。包容的な教育環境は、学業能力のすぐれた学生から助けを必要とする学生にいたるすべての学生に有益だと強く信じています。わが優秀な教師陣は、このような教育の実践を通じて全学生がISSの包容的教育文化から利益を得られるようお約束いたします。

学業的に優秀な英語圏の学生がISSの包容的な共同体にて成果を収めてはいますが、彼らだけが良質の国際教育を占有してはならないとするチャン・チー・セング氏のビジョンを共有しています。一部のインターナショナルスクールが排他的な入学政策を運営し成功していると誇らしげに思っていますが、ISSは英語圏に問わず当校に受け入れる学生達が学業的に発展し、自らの潜在力を発揮できるようにすることでISSの教育政策が証明されていると信じています。
学生が世界の優秀大学に進学できる潜在力を持っていたり、成功的な人生に続く他の進路を設定するなどすべての場合において、ISSは全学生が成功を達成できるよう専念しています。

ISSは、包容的な教育に専念することを誇りとし、すぐれた学生であれ教育的に手助けを必要とする学生であれ、英語圏の学生であれ英語の学習が必要な学生であれ、包容的な教育が全学生に有益であると考えています。

包容的な教育は、次にような利益をもたらすと信じています：
1. 差別化された教育が、学生をより深く没頭させます。
2. 教育的なサポートを通じて、学生は教科の科目を効果的に習得することができます。
3. 活動においては、ポジティブな教育環境を造成します。
4. 多様性を尊重することで、国際市民精神の育成に役立つ環境をつくります。
5. 期待感を高めることで、潜在力の実現を促進します。

ISSの教育環境で、どのように包容性が築き上げられるのか？

わが教師陣はレベルの高い包容分野の情報に触れることができ、
共有や協力的な計画、相互のミーティングを通じて習得した知識を活用しています。

私達は、一緒にスポーツをします！

インターナショナルデイでは、お互い多様性を自慢します

特に、特別に選択したプログラムやプログラムの相互関係を活用します。
わが教職員（教師、支援、行政職員）は、幅広い文化的能力を持っており、
多文化環境においてこのようなソフトスキルを学んで実践することができます。

担任および科目教師も、広がる英語圏の学生や学習的サポートが必要な学生と仕事ができるように教育を受けています。カウンセラーや学業支援職、ESL(English As a Second Language)専門職、外部専門家ネットワークなどによる専門家を確保しています。

学業を促進するために、発表や行動、表現、および参加できる多様な手段が教室内で提供されます。これを通じて個人にあった学業が可能で、学生の学業方法や能力および必要性を受け入れることができるように教育が差別化され変更されます。

ISSの選抜方針は、国籍、学業レベルおよび英語力別に最大限の学生を受け入れるという入学政策を慎重に維持しています。これは、多様な国籍で構成された、バランスのとれた生産的な教育環境の精神を守っていくためです。

我々は文化や宗教の違いで起こる不幸な出来事をよく知っており、学生達が他の文化や宗教を受け入れることができるようになることが非常に重要です。包容という概念は、ISSでは目に見える以上のものを含みます。国籍が違う学生と調和をなし、学業レベルが違う学生にチャンスを与えるだけでなく、信念や宗教、また考えの違いを受け入れることができるよう学生の価値体系に包容性を植え付けようとするものです。
「私達は、多様な観点を持った学生達にISSで学べる機会を与えたいと思っています。多様性がISSでは尊重され、自らを積極的に表現することを奨励しています。」と、IBのディプロマプログラムを行っており知識論(Theory of Knowledge)の教師であるジュンゴ氏（Mr. Jungo）は語ります。

多文化共同体からの声

ISSには50ヶ国から訪れた学生がいます。また教師陣も、アメリカやオーストリア、アジアおよびアフリカなど全世界にわたる多文化出身です。

わが小学校、中学校、および高校の学生達は、このような多文化環境の友達と親しくなります。学生に、なぜISS生活が楽しいのか尋ねるたびに、このことを確認することができます。

英語を楽しく学ぶ

月餅づくりを学ぶ

50ヶ国以上の国籍を持った学生で構成されている

「8年間、この学校は僕の家族であり、これからも同様です。学校には多様な文化が存在し、まるでわが家のようです。」～アレックス (Alex)

「他の人の文化や言語、国籍を尊重しています。学生達は親切で、心遣いをしてくれます。みんなで、いろんな文化を学んでいます！」～ クレア (Claire)

「いろんな文化があるのがいいです。」～ ガブリエル (Gabriel)

「ISSはインターナショナルスクールなので、他の文化を尊重したほうがいいと思います。」～ ラファエル (Rapheal)

「ISSには世界のいろんな国から来た学生がいて、お互いの真価を知っています。」～ マクカイラ (Mckayla)

Parent Teacher Association (PTA)でも、ISのように包容的な文化を垣間見ることができます。
委員会の多様性、いろんな活動の種類と内容、そしてPTAが主催するいろんな活動を広報するためのコミュニケーション手段は、この多文化的で包容的な学校の精神を表します。PTAの会長であるビッキ氏（Vicki）は、次のように話します。「PTAと私は学校の多様性と差別性に大きな誇りを感じ、各自の違いを尊重し、共通性を共有していることをよく知っています。ISSは包容性があり多様な学生の受け入れに重点をおいているため、できるだけ多くの包容的な委員会活動を通じて父兄とのコミュニケーションをサポートしています。わが委員会は、全員が共同体意識を感じられるように最善の努力を行っています。」
今年度、PTAはさまざまな活動を新しく導入し、初めて行われるものもありました。クイズの夜や、シンガポールのよく知られていない名所での父兄現場体験がそうです。クイズの夜では、一般常識から特定国家についてのものまで、いろんな分野の問題が出題されました。現場体験を通じていろんな国籍の父兄が一堂に会し、共同体意識を持って絆を強めることができました。他の活動は、国籍に問わず全員が楽しめる和合の場を提供するために準備されました。これらすべてが、ISS特有の緊密な共同体意識を築きます。

このような包容的な環境で、全学生が肌の色や言語に問わず教育を受け、学び、サポートされ、各自の長所を生かして成功できる機会が与えられます。CAS/Serviceの支援担当であり科学および環境システム＆社会教師のホワイトヘッド氏(Mr.Whitehead)は、このようなISSの精神を次のように語ります。
「ISSはすべての学生に機会を与え、包容的な環境を提供します。これは私の普段の信念と同じで、この場所で17年間学生を教えることのできた理由です。」

理事会メンバーの紹介

チャン・クァイ・メング氏(Mr. Chang Kwai Meng)

サウスオーストラリア大学MBA出身のチャン氏は、新聞コラムニストから出発し、ナニャン美術大学(Nanyang Academy of Fine Arts)の校長として勤務しました。ファーイースト・オーガニゼーション(Far East Organization)の議長諮問も歴任しました。

現在、シンガポールの作曲家および作家協会会長で、国立劇団クラブの諮問でもあります。

チャン氏は、音楽教育やマーケティング、広告および中国文学および著述にいたるまで、いろいろと興味を持っています。実際にいろんな本を執筆し、最近の作品は『振り返る－チャン・チ・センングのメモ』です。
ISSインターナショナルスクールは、チャン氏にとって特別な場所です。経営権威者の言葉を引用すると、「差別化、コスト優先、市場での迅速な反応が競争優位の3大要素である。」 よって、彼の願いはISSがインターナショナルスクール分野で市場をしっかりとリードしていくことです。これは、創意的な教育プログラムを通じて達成することができます。また、ISSの中国進出が彼の夢です。

Mr. Chang Kwai Meng

10学年プライベートプロジェクトの日

8月18日のプライベートプロジェクトの日は、10学年にプライベートプロジェクトの開始を知らせる素晴らしい日でした。
プライベートプロジェクトは、MYP(Middle Years Programme)認証に必要なもので、自らを表現し、時間の管理方法を学び、組織化能力を体験する機会です。また、プライベートプロジェクトは創意力、アクティビティ、サービスアクティビティへとつながっていくので、プライベートプロジェクトはディプロマプログラムの重要な準備段階でもあります。

プライベートプロジェクトを通じて、関心分野の作品や活動を企画することができます。これは、慈善活動に対する認識を高めたり、募金イベントにおいて基金を準備するミュージックビデオやウェブサイトになることもあります。

プライベートプロジェクトの日に学生達はリサーチや調査を始め、自らのアイディアを友達に公開してポジティブな側面や予想される困難についてフィードバックしてもらいます。
学生達はこれを検討し、プロジェクトを発展させる方法を探索します。学生はSMART (specific, measurable, attainable, realistic and time based)を設定して、与えられた時間内で現実的かつ達成できる目標を立てます。これを通じて、プロジェクトを成功的に開始できます。

12月12日のISSプレストンキャンパスでは、完成したプライベートプロジェクトを発表します。みなさまをこの行事にご招待し、ご参加くださることを心よりお待ちしております。

ホディノット先生(Mr.Hoddinott)
プログラム進行担当

小学生水泳大会

水泳はいつでも楽しいです!

僕らのチームを応援してください!

やったー!

爽快なお天気と素敵な友達

毎年、ISS小学校(ES)水泳プログラムの最後の行事として、水泳競技が開催されます。
6週間の水泳プログラム中に上達した水泳の実力を誇る場となります。父兄全員が参加して、楽しい時間を過ごします。水泳、笑顔、そして励ましであふれた素晴らしい日です。

ESの水泳行事は、教室から離れて楽しい経験ができるISS行事の1例です。
ISSの有益な教育環境は、学問的な能力と創造的な活動のバランスを維持します。

中学生 アクションデイボランティア

学期末のアクションデイ(Action Day)では、学生と教師全員がボランティアを体験します。
バリンガー氏(MR.Ballinger)は、2学期は全学年が他の人の立場(Walk in Her Shoes)になってみるようにしています。その日は、きれいな水を求めて1日に1万歩以上を歩かなければならない世界の人達のことが頭に浮かびました。学校からシンガポール植物園まで、徒歩数を数えながら歩き、その間、他の人達が日常で歩く大変さを感じようと思いました。植物園に到着すると、学生達が参加できるさまざまな活動を行いました。例えば、写真撮影や鳥の観察、体力鍛錬、植物探究、美術および工芸などを行いました。全員にとって特別な日となり、なによりも重要なのはISS共同体の一員として世界のためになにかができるということを感じることができた日でした。

公園での瞑想

即席芸術品づくり

中学校の教師陣

8学年 グッバイイベント

美しい女子学生達!

おめでとうございます!

中学校では学年が終わる頃、学生と教師達はいろんな感情が交差する中、一つの行事を行います。8学年のグッバイイベントです。これは学生生活の今後の通過儀礼であるため、感じることがたくさんあります。特に、パターソンキャンパスでの生活が終わるということで、いろんな感情が沸き起こります。

この日、ISSプレストンキャンパスで9学年をスタートする8学年の学生の成果をお祝いします。グッバイイベントのポイントは、学生会がこのイベントを主管するということです。8学年の学生の学業やボランティア、IB学習者プログラム (IB Learner Profile)、スポーツ貢献およびすべての成果で示されたこれまでの努力を認識する場です。

8学年の学生達は、家族や友達と共に思い出を振りかえってみました。6学年から8学年のときのビデオを観て、学生がどれだけ成長し成熟したのかを確認することができました。学生達は、シンガポールの川辺のグランドコプソーンホテル (Grand Copthorne Hotel)で上質のお茶も忘れずに準備しました。

本校8学年の学生たちのお祝い写真

モエ(Moe)、インドネシアのボロブドゥール寺院で
きらきらひかる芸術舞踊団と共に

ダンスという言語を通じて文化を共有

ISSインターナショナルスクールの高校生であるモエ(Moe)は、普段から文化に興味がすごくありました。
「日本とシンガポールに住みながら、2つの国の文化を経験できる機会を得ることができました。そこで、お互いの違った文化についてより知ることができました。また、文化交流について共感し、これを進展させていく必要性を感じ、ダンスを通じてこれを実践できると思いました。」
才能あるダンサーであるモエは、世界中で公演を行っていました。日本やハワイ、インドネシアジャワ島のボロブドゥール寺院、そしてシンガポールのシンガイフェスティバル(Chingay Festival)!さまざまな経験を通じて、彼女はダンスが'言語の壁があっても、文化を紹介するために'強く結びつけることができるとわかりました。特に、シンガイフェスティバルを通じて日本以外の友達が日本の踊りを学び、自国のダンスと比較できる機会となりました。

モエはこれをきっかけに、日本のきらきらひかる舞踊団の15人が1週間シンガポールを訪問できるように一人で計画し、これをやり遂げました。舞踊団はシンガポールの若者達にダンスを通じて日本の文化を紹介する目的で、モエと共に一般の学校1校と技術学校で公演を行いました。日本の伝統舞踊に対する認識を高めるために、日本だけでなくシンガポール主催側の参加者のダンスワークショップが計画され、ダンスを通じた文化交流の神髄を実現できるようにしました。学生や教師、父兄、卒業生および理事会からなるISSインターナショナルスクール共同体も、モエと舞踊団の公演を楽しみました。

シンガポールのいろんな人に公演を見てもらえるように、モエはハードな学校の学習と平行して1年前からプロジェクトを準備しました。舞踊団と共にハワイで公演を行った際には、これについてインスピレーションを得ることができ、舞踊団がハワイの観衆に披露した真価、またその反応と効果をみることができました。公演を観て、日本文化について理解することができました。モエは、このような公演をシンガポールの観衆にも紹介することにしました。舞踊団の同僚達も文化交流を通じてシンガポール文化に触れたいと思っていたのですが、それを実現することができました。

またモエは、ISSでの生活のおかげで文化に対する愛情をさらに発展させることができたと思っています。「ISSで勉強している時にはダンスを通じて学校の友達と日本文化を共有し、それだけでなくいろんな文化圏から来た友達と交流することができました」
彼女は、学校で日本の太鼓の踊りECA(extra curricular activity)を始め、現在はISSの友達と一緒に公演を行っています。教師もECAがあるたびに、彼女の公演を楽しみました。

これは、モエにとって個人的に達成感を感じる経験でもありました。モエは、次のようにまとめました。
「これは文化交流を促進させる機会であり、ダンスの美しさを通じてさらに鼓舞されます。」

ダンスを通じた文化交流の面白さ

卒業しました!

2017年のIB結果

“42点、万歳!”これは、2017年のIB結果の最高ポイントです。このような成果は、差別化された学習法を提供し学生を育成し、包容的な学校を目指すというみなさまとの約束が適切であり、正確な戦略だったことを表しています。これを通じて、学生達は自らの潜在力を実現できる能力と特性を習得することができました。

一部の学校は自らの学校が成功したことを証明するために排他的な入学政策を運営していますが、ISSは受け入れた学生達全員が自らの潜在力を達成できるようにすることで成功を収めています。学生達が世界有数の大学に進学できる潜在力を持っていたり、成功的な人生に達する他の進路を設定したりするなどどのようなケースにおいても、ISSはすべての学生が成功できるよう専念しています。今年のIB平均点は32点で、IB結果は20点中盤から40点代までに分布されます。「このようにIBの点数の分布が幅広いのは、まさに包容的な入学政策を反映しているものです。我々は、全学生が教育を受ける資格があると信じており、このような目標を成就するためにシステムや政策をつくっていくつもりです。ISSが世界の平均である29点よりさらに良い結果を出せているという事実は、包容性という私達が示す約束をさらに確固たるものしてくれるでしょう。」と、ISSの校長であるマーガレット・アルバレズ氏(Dr. Margaret Alvarez)は語ります。

IBの学生のうち、最高成績を記録したリン(Rin)は、コンスタントに勉強し、注意を払い、プロジェクトを達成するために細やかな課題に区分して学業計画を立ててくれた厳しい制度が成功のポイント要素であったといいます。これは、プライベートな時間を犠牲にして指導し教えてくれ、質問について完璧に答えてくれた多くの教師陣の確固たる配慮、献身やサポートなどがリンを発展させ、授業が理解できるようにし、素晴らしい結果をもたらすことができたといえます。

リン、2017年の過程、おめでとうございます。よくがんばりました!自制の闘志でやり遂げることができました。今後も、楽しい大学生活を送ってください。

特に、安定した配慮やサポート、献身してくださった全教師陣にも心より感謝いたします。彼らがいなかったら、ISSの学生達が潜在力を最大限に実現できなかったと思います。

すぐれた結果を通じて、世界有数の上位圏大学への入学資格を獲得しました。

学生が進学するイギリスおよびヨーロッパの大学
- Imperial College, London
- Kings College, UK
- University of Warwick
- Cardiff University
- Trinity Laban Conservartory
- Les Roches, Switzerland
- Leiden University, Netherlands

学生が進学する北アメリカおよびヨーロッパの大学
- Purdue University
- New York University
- Northeastern University
- University of British Colombia

学生が進学するオーストラリアおよびアジアの大学
- University of Sydney
- University of Melbourne
- Savannah College of Art and Design, Hong Kong

ISSの卒業生

わが校の卒業生達は全世界におり、ISSインターナショナルスクールの重要な部分です。今後は、インターネット上のイベントや専門家の講演、同窓会または対話をする機会を通じて、卒業生を招待する計画です。

ドミトリ・フェドキン(Dmitri Fedotkin)

ドミトリ・フェドキン (Dmitri Fedotkin)

私はISSインターナショナルスクールで約2年ちょっと勉強し、1995年に卒業しました。これを通じて、私の人生が変わったといっても過言ではありません。

ロシアの商業および投資銀行の調査分析部署に勤務し、2016年の初頭からロシア輸出信用および投資保険公社(EXIAR)でリサーチ担当理事として仕事をしています。

私はより開放的で国際的な視覚を身につけることができたことは、ISSでの経験のおかげです。

英語で行われる、ロシア語とは確実に違った教育方法に触れ、さらにはロシア以外の文化や国籍、および背景を持った素晴らしい友達とも仲良くなれました。

ここで得た経験の幅、また長く続いている友情をとても大切に思っています。

私はより開放的で国際的な視覚を身につけることができたことは、ISSでの経験のおかげです。

ここで得た経験の幅、また長く続いている友情をとても大切に思っています。

- Dmitri Fedotkin

卒業生が学びという人生の過程でなにを達成し、ISSでの生活を通じて現在の私ができ、なにをすることになり、国際共同体でどんな役割をしているのか、是非お聞かせください。フェイスブックで、新しい卒業生の最新ニュースやイベントをチェックしてみてください。

www.facebook.com/groups/isssgalumni/

2017サマースクールディスカバリー

‘全部、よかったです。学校に行かなかった時だけが、楽しくなかったです。’
—ISSサマースクールの学生

‘授業が楽しく、想像力を発揮することができました。先生がとてもよかったです。’
—ISSサマースクールの学生

‘一番楽しい授業は、冒険スポーツでした。今までやったことのない多様なスポーツを試みることができました。
護身武術（テコンドーや合気道）がとても面白いことがわかりました。’
—ISSサマースクールの学生

美術の時間に多様な材料とアイディアでトライしてみます

2017サマースクールディスカバリー(Summer School Discovery 2017)は、すべての学生や父兄および教職員にとって楽しい経験でした。2017年7月3日から7月28日にかけて学生と父兄のために夏休みプログラムを提供することになり、私達もとても楽しみでした。4週間、約300人の学生がサマースクールに参加して、午前コース、午後コース、1日コースに登録しました。

言語ディスカバリーや芸術（美術、工作、演劇、音楽）ディスカバリー、STEM(Science, Technology, Engineering, Mathematics)ディスカバリー、ディスカバリーアドベンチャー（スポーツ大会）の4つの分野を代表する多様なコースで学生達が直接体験し実験できるよう、熟練した教師達が指導しました。

言語ディスカバリーコースで学生達は、ESL(English as a Second Language)を通じて英語の基礎を強化し、クリエイティブラングエッジコース(Creative Language Courses)で英語能力を向上させます。学生達は、マンガの本をつくったり、高学年の学生達は短篇小説や詩をつくって発表します。

特に、今年は芸術ディスカバリーが強化され、学生達が自らの新しい能力を発見することができ、グループで公演も行いました。毎週金曜日の午後に学生と父兄が集まり、低学年と高学年のジェスチャープレイ(Just Play!)音楽公演やディスカバリードラマの学生による演劇公演を楽しみました。たった1週間だけでしたが、学生達がやり遂げた成功的な公開イベントでした。クリエイティブやビジュアルアートの学生達は芸術の歴史を探求し、同時に新しい方法で驚くような作品を完成させました。

化石探しやカタパルトづくり、火山づくり、風力自動車の組み立てー若い科学者達や古生物学者達がSTEMディスカバリーコースで直接つくったものです。高学年の学生達（未来のエンジニア）は、コードをつくって音楽を作曲し、自らのコンピューターゲームを設計し、ロボット自動車を組立て、レーザーを利用してゲームを企画し、ドローンを飛ばして友達と競争しました。

ディスカバリーアドベンチャーコースでは、学生達はグループスポーツや競争やロッククライミング、アーチェリー、テコンドー、合気道、ゴルフ、水上活動、およびその他の面白い活動や競技を楽しみました。

2017サマースクールディスカバリーに参加していただいた教師や学生、および父兄のみなさまに、感謝いたします。
コースは、魅力的で挑戦できるものでした。また同時に学生達にとっては貴重な体験となり、新しい友達や家族に話したい思い出を持って帰宅しました。

音楽の時間でいろんな楽器を使い、リズムと拍手を学びます

アイディアや戦略を絞り、カタパルトをつくりました

ロボット工学を活用して、問題解決能力や分析技法を開発します

スポーツデイに参加したPTA委員会の委員達

PTAのお祭り

PTAの1年の概要

Parent Teacher Association (PTA)は、無事に1年間を過ごすことができました。この1年、情熱や努力、ユーモアを見せてくださった委員会の委員、父兄、後見人および教職員のみなさまのおかげです。楽しい会議および行事でした。ありがとうございました。

この12ヶ月間、PTAは父兄や教師、および学生のみなさんのために行事を無事に主催してきました。例えば、父兄だけでなく教職員の頭脳をテストするクイズの夜や、お祭り、父兄現場体験などが行われました。年次インターナショナルデイは年間行事のメイン行事ですが、学生達はビックリする国家を伝えるのにものすごい想像力を見せてくれました。もちろん、教師や父兄、後見人のみなさまのサポートがなければ成功できなかったと思います。

PTAの目的の一つは、学校の支援です。できるだけたくさんの学生とその家族が参加できるように努めています。お祭りが典型的な例で、今年は暑い日にもかかわらずたくさんの学生やご家族の方々にご参加いただき、満足していただきました。

また他の目的は、学校生活のすべての面における寄付です。今年はなによりも新学校の美術および演劇分野への寄付が行われ、それだけでなく学生委員会のスポンサーとなり、学生達が選択した慈善活動を支援できてとても嬉しく思います。

教職員のためにBBQイベントを行い、今年1年無事に終えることができて本当に嬉しく思います。一生学習者として成功でき、探究的で博識で意欲的で配慮のできる世界的な市民として育てるために疲れも知らずにがんばってこられた教師および職員の方々に感謝の意を込めて、このような非公式な場が準備されました。

ISSのPTAは、学生や父兄のための行事を企画して、学校共同体を強化するためにさらに努力していきます。ご意見やご提案がありましたら、是非お聞かせください。多様な行事の場で、みなさまとお会いできれば幸いです。

ビッキ(Vicki)
ISS PTA会長、2016-2017

2016-2017　PTA委員会

PTAの目的の一つは、学校の支援です。できるだけたくさんの学生とその家族が参加できるように努めています。お祭りが典型的な例で、今年は暑い日にもかかわらずたくさんの学生やご家族の方々にご参加いただき、満足していただきました。

学校の活動 ―8月から9月まで

新入生のオリエンテーション（8月4日）

新入生がキャンパスに慣れ、学校の友達と会えるようオリエンテーションを行いました。新入生のオリエンテーションは、新入生がISSに適用できるようになる最善の方法です。

小学校、中学校および高校教師との出会いの夜（8月15日、22日、23日）

ご子息の担任教師や科目教師と面会し、教室で行われる出来事やカリキュラムについて知ることのできる場です。

Scholastic Environment Fund (SEF)弁論ワークショップ（8月19日）

SEFは、国際教育部の学生達が9月にある弁論大会の準備のために、パターソンキャンパスで弁論ワークショップを行いました。

SEFは、2001年にISSの20周年を記念して設立された慈善団体です。
国際教育部の学生が活動し、環境に関する重要プロジェクトを行う機会を提供します。

10学年　プライベートプロジェクトの日（8月18日）

10学年の学生は、世界的な視覚でそれぞれの関心事を表現しプライベートプロジェクトを構想し企画する、楽しくて生産的な時間を過ごしました。プライベートプロジェクトを楽しんで達成感を感じられるためになにが必要か学べると同時に、アイディアやインスピレーションを得られるようブレインストーミングを行いました。

12学年　昼食時間を利用した音楽演奏会（8月25日）

12学年の学生は、プレストンキャンパスで昼食時間を活用して公演を行いました。
昼食を食べながら、きれいな音楽を観賞しました。

PTA会議（8月28日）

PTAの今年初めての会議が開かれ、長い夏休みを終えて久しぶりに出会えた有意義な時間でした。
みなさんも希望を抱いて、新学期がスタートしていただければ幸いです。他の父兄に出会い、ご子息と一緒に参加していろんな担当を行っていただけるよい方法です。

中学校および高校　母国語情報の夕べ（8月29日）

ISSでは、学生達は自らの母国語を持続して勉強することができます。
学生達が母国語を勉強できるように学校が提供する内容や、父兄ができる協力内容などについての情報が得られます。

教授法および学習方法（PYP、MYP、DP）（9月7日、20日）

父兄がIBのカリキュラムと多様な科目について、より詳しく理解できる懇談会を準備しました。
モーニングコーヒーと共に、教授法および学習方法についての懇談会に是非ご参加ください。

新入生オリエンテーション

プライベートプロジェクトの日

昼食時間を利用した演奏会

PTA会議

MYP母国語ブリーフィング

PYPとMYPの教授法および学習方法

期待できる行事

9月から11月まで

PTA年次総会 (9月13日)

9月13日に、PTA年次総会が開催されます。PTA役員も選出されます。
この行事にご参加いただき、ご支援をよろしくお願いいたします！

PTA年次総会

Scholastic Environment Fund (SEF)弁論大会 (9月16日)

SEFでは、パターソンキャンパスで毎年開催される弁論大会を開催いたします。
SEFの会員である国際教育部の全学生に参加資格が与えられます。
発表するテーマは、環境に重点をおいて発表してください。

小学校の運動会 (9月22日)

9月22日に小学校の運動会が開かれます。
是非ご参加いただき、応援のほうをよろしくお願いいたします！

小学校の運動会

中学校スピリットウィーク(Spirit Week) (9月25日から28日)

毎年MYP水泳大会を前にして、中学校スポーツ指導者は学校の精神を高揚し、水泳大会への期待を起させるためにスピリットウィークを行います。昨年同様、1チームで参加できるよういろんな楽しい活動が用意されます。

水泳大会

MYP水泳大会 (9月29日)

MYP(Middle Years Programme)水泳大会が、9月29日に開催されます。
多様な行事と共に、学生の泳ぐ姿をお楽しみください！

インターナショナルデイ (10月6日)

インターナショナルデイは1年を通じて最も楽しい日で、今年も同様に開催されます。
いろんな多文化共同体について学び、お祝いする絶好の機会です。
お互いの違った文化を体験するワークショップが開催され、各自が準備した世界の料理を味わうことができます。

インターナショナルデイ

中学校＆高校　障壁のないウィーク (10月23日から27日)

中学校と高校の学生達は、毎年カンボジアやインドネシア、マレーシア、ベトナムなどのアジア各国に体験ボランティア活動に行きます。学生達は共同体のために、多様な方法でボランティア活動を行います。

中学校の障壁のないウィーク

小学校　ブック博覧会（11月1日）

読書は語彙力能力を向上させ、英語の練習には素晴らしい方法です。
図書館に立ち寄って、新しく出た本を見つけてあなたのコレクションに追加してみてはどうでしょう。

ブック博覧会

中学生が主導するカンファレンス（11月1日）

11月1日に開かれるカンファレンスは、中学生が主導し、ご子息が学校でなにを学んでいるのかご子息の目線で発見できるよい機会です。
学生達は両親の旅のガイドとして、いろんな活動や知識、学校で学んだ教訓を公開します。

中学生が主導するカンファレンス

シンガポールニュース

シンガポールのこれからの行事

ご子息と、またはISSの他の家族と一緒に楽しめる行事です。

クラッキット教授(Professor Crackitt)の光と照明の幻想的な迷路

クラッキット教授が実験室で見失ってしまったペットのオウムのワットノット(Wattnot)を探せ。

まるで逆戻りしたかのようなそっくりの廊下で道を探して、光と照明によるさまざまな現象を見せてくれる教授の揮発な発明品を確かめます。

Hall A, Science Centre, 15 Science Centre Road,Singapore 609081
10:00～18:00（科学センター入場は17：15まで）
+65 6425 2500
http://www.science.edu.sg/exhibitions/Pages/MirrorMaze.aspx

野生の中に

リアルな仮想冒険へ！

南アジアの熱帯雨林をもう一度つくろうとした時、仮想冒険は現実のものとなります。
世界自然保護基金（WWF）への誓いと共に、仮想の木を植えるたびに、インドネシアの熱帯雨林に実際に木が植えられることでしょう！

ArtScience Museum, 6 Bayfront Ave, Singapore 018974
10：00～19：00
+65 6688 8888
http://www.marinabaysands.com/museum/into-the-wild.html#71LM0m0viQtirUQy.97

詳しくは、こちらをご参照ください：
http://www.singaporeforkids.com/events-and-happenings/#MON
http://www.littledayout.com/events/2017-10-01/